

令和2年度 第4回 貝塚市立公民館運営審議会会議録

令和3年3月12日（金）午後2時00分から午後3時30分
貝塚市立中央公民館 講座室2

出席委員：萩原委員長 麻生川副委員長 北野委員 西田委員 黒井委員 木村委員
中野(伸)委員 谷口委員 井上委員

欠席委員：中野(俊)委員

事務局：樽谷教育部長 寺戸中央公民館長 小山浜手地区公民館長
小西山手地区公民館長 井川中央公民館長補佐 上野中央公民館主査

館長：定刻となりましたので、ただ今から、令和2年度 第4回貝塚市立公民館運営審議会を開会いたします。

これまでの審議会で説明しましたが、この審議会は、社会教育法第29条第1項の規定に基づき市の条例により設置されております。

また、第2項に「公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。」と定められています。

構成、会議の運営などの詳細は、本市の条例、規則で定められています。よろしくお願ひいたします。

なお、この審議会は会議録作成の都合上、録音させていただきます。ご了承ください。まず、本日の配布資料の確認をさせていただきます。なお、本日の資料につきましては事前送付しているものを持参していただくよう依頼申し上げます。

送付しました資料は、「令和2年度第3回貝塚市立公民館運営審議会会議録(案)」
「各公民館事業予定表（令和3年4月から6月）」の2点でございます。

また、本日、お手元に、追加の会議資料としまして「一年の取り組み」中央公民館・浜手地区公民館・山手地区公民館分をお配りしております。

本日の会議は、現在10名の委員中、9名が出席されており、過半数以上の出席となっております。よって、審議会規則第3条第2項により審議会は成立しております。

なお、委員は道中と聞いており、まだお見えではありません（欠席）。

本日の議事・案件の進行については、審議会規則第3条第1項により、委員長が議長となりますので、委員長に会議の進行をお願いいたします。

では、委員長。よろしくお願ひいたします。

委員長：こんにちは。前回は12月の開催でしたので、年を越えて、この間に緊急事態宣言が発令され、また2月28日に解除となりました。大学では、あさって卒業式を控えており学生に送る挨拶を考えているのですが、学生にとって在学中の4年間の中でこの1年は本当に大変な年になったと思います。また、公民館にとっても令和2年という年は重要な年であったと思います。

それでは案件に入りたいと思います。案件1は令和2年度第3回貝塚市立公民館運営審議会会議録の承認についてとなっております。事務局のほうから説明をお願いします。

1、令和2年度第2回貝塚市立公民館運営審議会会議録の承認について

館長：前回開催されました令和2年度第3回貝塚市立公民館運営審議会の会議録についてご説明いたします。

事前に送付いたしましたこの審議会の会議録につきまして、ご確認いただきお気づきの点などございましたら、この場でご意見をお願いいたします。

委員長：事前送付となっておりますので、あらかじめ読んできていただいているかと思いますが、今一度少しお時間をとりますので、ご一読いただければと思います。

※各自確認

委員長：それでは修正等のご意見ありましたら挙手お願いします。

館長：冒頭の「令和2年度第3回貝塚市立公民館運営審議会」のあとに「会議録」が抜けておりますので、追加訂正をお願いします。

委員長：他にご意見ありましたら、挙手お願いします。特に修正等ありませんでしょうか。今後、事務局で調整してもらい、最終は私と事務局で調整させていただくことになるかと思いますが、いったんここで了承ということによろしいでしょうか。

※異議なしとの声あり

2、3館事業報告・事業予定について（報告）

委員長：それでは、案件2、3館事業報告・事業予定について（報告）、事務局から報告をお願いします。

事務局：各公民館における、令和3年1月から3月の事業実施、および新年度の4月から6月の事業予定について、各館から順次報告いたします。

委員の皆様へ開催のご案内を通知させていただきましたが、2月7日（日）に「第9回貝塚公民館大会」を開催しました。

今回の公民館大会は、実行委員会から「やっぱり好きやねん♡公民館」をテーマに、感染症を経験した今年だからこそ感じたこと、工夫したこと等の意見を出し合い、改めて公民館の役割について考える機会を持ちました。

今回の開催の特徴として、コロナ禍における開催を考え、これまでのように1つの館に会して、基調講演・分科会・総括と進める方法から、会場を分散し、浜手地区公民館をメイン会場とし、中央・山手地区公民館をオンライン（Zoom）でつなぎ開催しました。

当日の大まかな流れになりますが、オンラインを介し、貝塚子育てネットワークに所属する大会実行委員長および市長による挨拶に始まり、その後、各館オフラインでグループトークを行い、各グループで発表。その後、再びオンラインを介し、各館のグループ代表者による発表、最後に講師の和歌山大学の教授にまとめをしていただきました。

教授からは、普段慣れ親しんだ公民館は命綱であると同時に、公民館に来たくても来れない人たちの存在にも着目し、今後オンラインを取り入れた新たな可能性を探る必要

性がある旨の総評をいただくなど、公民館の新たな挑戦の一步を踏み出せた大会となりました。

新年度は、5月に新型コロナウイルス感染症対策を施した上で「第65回中央公民館まつり」を22日（土）・23日（日）の2日間にわたり開催する予定です。

今回の開催企画につきましては、コロナ禍の中、開催のあり方を考えていく上で昨年10月から利用者の皆様と意見交換会を行い、その後、準備会を経て本年1月に実行委員会を立ち上げ、新型コロナ対策も考えながら新しいスタイルの公民館まつりを目指し、現在も各委員会を開催しながら準備を行なっています。

公民館まつりのテーマについては公募制として利用者にお願ひし、投票の結果「今こそ、新たな一步を！With コロナの地域生活を共に築こう。」と決定しました。

また、高齢介護課共催事業としまして新しい取り組みとして「いすヨガ講座」「スポーツ吹矢講座」を開催いたします。

事務局：浜手地区公民館では新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで講座運営を行っております。

12月13日にはコロナ禍でも元気をつけてもらうべく「和太鼓を楽しむ」を開催しました。会場は密を避けるため、北小学校の体育館をお借りしました。

10年間開催を続け皆様にはお馴染みロビーコンサートですが、今年度は密を避けるためホールで開催しました。来年度からは「浜手アフタヌーンコンサート」として、新たに午後2時から浜手地区公民館のホールにおいて開催することになりました。

新年度になります5月16日には、今年度中止となっていたジャズコンサートを二色小学校の体育館でお借りしまして開催いたします。

また、コロナの心配、外出自粛と言われる中、高齢者の方が一日の大半を自宅で過ごす方も多くいるなどフレイル予防のため、「肩こり腰痛を吹き飛ばそう」という講座を開催いたします。

事務局：1月から3月に開催した事業報告としまして、大きなイベントとなりましたのは2月28日に開催されました「水間末廣座」があります。例年は水間寺の客殿で行うのですが、今年はコロナ対策のため山手地区公民館ホールにおいて実施し、過去、当日受付先着順での入場でありましたが、事前申し込み制としてチケットを発行することとしました。そのためトラブルなくスムーズに開催することができました。

コロナで参加人数が減少するかと思いましたが、例年と変わらない人数の参加者があり少し遅めの初笑いとなったのではと思われました。

令和3年度においてはまだ続くコロナの影響など4月から6月の新規講座は現在企画していません。今後、様子を見ながら柔軟に新規講座を企画していければよいと思っています。

委員長：ご苦労様です。最近行われた事業総括、さらに新年度の予定などの報告説明に対し、何か意見があればお伺ひします。

委員：山手地区公民館の報告に、新春に将棋の講座があり、事業予定表の特記事項に将棋倶楽部とありますが、何かつながりはありますか。

浜手地区公民館にも囲碁クラブがあるので、山手地区公民館の将棋と同じように囲碁講座など開催してみようかと思っております。どのような流れでクラブが出来たのか、また開催出来たのかと思ひまして質問しました。

事務局：活動しているクラブではなく、将棋に詳しいボランティアがいるので、その人を招いて、子どもたちを集めて第3土曜日、月一回将棋をしています。

「新春将棋大会」とは子どもたちがこれまで将棋をしている成果としてトーナメント式の将棋大会を実施しているものです。

委員：続けて来ている小学生は何名くらいですか。

事務局：小学生で5人のときもあれば8人の日もありました。毎年4月に募集をかけまして新しい子ども達が集まっています。

委員：どこで募集をかけているのですか。

事務局：広報です。他、公民館利用者の情報、参加している子どもやその親の口コミもあるかと思ひます。

委員：浜手地区公民館でも囲碁になりますが是非やりたいですね。

委員：浜手地区公民館でダイエットボクササイズを開催されていますね。4回されて受講者も多く、若い方が来ていたとのことで続けてほしいと思ひます。

今、クラブ員が少なくなっていて、できれば若い人が参加できる新しい講座からクラブに発展していくように考えてクラブを増やしてほしいと思ひます。そのような考えをもって来年度においても開催するなどの方針はありますか

事務局：中央公民館でも9月にダイエットボクササイズの講座を開催する予定です。働いている人が参加しやすいよう夜間に実施します。

講師は大変人気のある方でスケジュール調整が難しかったのですが、開催出来ることとなりました。働いている方など普段、公民館に来ない方を呼び込むための取り組みということで考え企画しています。しかし、人気がある講座の講師はやはり忙しく、スケジュール調整もままならないこともあります。

委員長：2月7日の公民館大会のことでお聞きしたいことがあります。中央公民館参加40名、浜手地区公民館29名、山手地区公民館24名、三館の合計93名になるということですか。あと、オンライン参加の方はこの数字に含まれているのでしょうか。

事務局：93名は各館に来館し参加された人数です。常にオンラインで結んでいるのではなく、開会の主催者挨拶、来賓挨拶がまずオンラインでその後、オフラインですが各館においてパネラーによる活動紹介、グループトーク、発表がありました。

そして、再度オンラインにより各館の発表、講師教授による総括、閉会となりました。

委員長：分かりました。ご意見がなければ、次に3、その他ということで、「一年の取り組み」について事務局から説明をお願いいたします。

3、その他 「一年の取り組み」について

事務局：「一年の取り組み」についてご説明いたします。

本日配付しました「一年の取り組み」はモノクロであり現段階は作成途中であります。

記事の内容については決定であります。後、月末開催の夏休みに開催されなかった「子ども講座」終了後写真記事を掲載し各館最終の仕上げに入ります。作成費用は新年度となります。1面には、3館共通の事項として、前案件で報告しました「第9回貝塚公民館大会」に関する記事を掲載しております。

他、誌面には一年間取り組んできた各館の主要事業を分野ごとに分けて作成していません。完成後においては公民館まつりでの配布であったり、各公民館の地域出前事業での配布また各公民館に置きまして公民館の宣伝をおこなっております。広く知ってもらうことを目的とし、平成27年度から作成しています。なお、総括を含め事業の詳細を「2020年度貝塚公民館のあゆみ」にまとめ編集しています。

「一年の取り組み」完成後は、公民館まつりや地域出前講座などで宣伝配布する予定です。

委員長：こちらについて、ご意見ありましたらお願いします。今日配布された資料で表裏ありますので、しばらくお時間いただいて、皆さんご確認ください。

委員：こちらの左に取組みとは一覧表には4月から3月までの講座が入っているのですね。

館長：委員のいうとおりです。

今年度の最初からコロナの関係で今年1年間のうち取組みできないこともありました。公民館では「公民館まつり」などの中止により、利用者が通常の5割減となりました。

事業は昨年度と変わらないように行っています。ただし夏休み子ども講座は学校園の夏休みの日程が少なくなったこともあり、今年度は取り組めていません。その代わり冬と春休みに青少年対象事業でもある子ども講座に取り組みました。

委員：利用者の5割減というのは3館合わせてですか。

館長：毎年計上している統計資料によると昨年度は15万人弱の利用がありましたが、今年度は2月末まで約6万ぐらいです。半減しているのは否めません。高齢者の活動自粛などもあって少なくなったと考えています。年度初めの4月から5月に緊急事態宣言が発令されて休館した関係もあると思います。

委員：コロナがなければこんなことにはなっていないということですね。

館長：公民館の講座事業においてもコロナ対策、三密を避けるために部屋の利用定員を減らし、コロナ対策を重点に行ってきたつもりですので減らざるを得なかったと思います。

事務局：昨年の臨時休館以降、各部屋50%以下の定員数で活動してほしいと利用者をお願いして運営していました。1人あたりのソーシャルディスタンスを考えて定員の半分よ

り 20 から 30 パーセント減のときもありました。繰り返しになりますが現在も活動を休止しているクラブもあります。

委員長：コロナ感染予防対策として、部屋の利用定員を 50%以下としている。緊急事態宣言などの影響により、利用者が活動できない期間があった。高齢者が多いクラブなどは活動を休止しているところもある。以上の理由から利用者数が減少したということですね。ほかにご意見ありませんか。

委員：緊急事態宣言発令中は夜 20 時までということで、19 時からの夜間の時間帯に活動しているクラブは 1 時間しか使用できなくなりました。私は陶芸クラブで活動していますが、夜の利用時間を前倒して 15 時半から使用して、4 時間分のお金を支払って利用しました。

ところが、中央は 19 時からの 1 時間分はお金をとらないことになっていると聞きました。同じように使用して、使用料を払ってないクラブがあるのは不公平だと思います。

館長：緊急事態宣言発令中の時間短縮時の利用については、3 館で協議し、中央公民館でも（クラブ）活動をするということであれば料金を徴収しました。

ただし、5 月の緊急事態宣言明けと同じように新型コロナウイルス感染症対策を含んで今後のクラブ活動をどうするのかなどのお話をしたいという場合においては、通常であればロビーを使用してもらえば良いのですが中央公民館の構造上、学生などが勉強のために使用していることもあり、ロビーを学生に開放するため、またミーティングすることにおいて三密を防ぐ観点からもクラブには部屋を使ってもらいました。そのことを説明したうえで一時間でもクラブ活動をするということであれば、使用料を払ってもらっていました。

ただし、それも「活動している」と言われれば致し方なく、今後はこのようなことが無いよう気をつけます。

委員：同じ市民の活動について、認める、認めない、の違いがあっているんですか。本当に市民のためを考えて公民館を運営しているのですか。

事務局：繰り返しになりますが、あくまでも話し合いにおいて今後の活動を皆さんで話し合いしてもらうためなどにロビーではじっくり話もできないだろうから部屋を提供したということです。利用にあたっては、夜間に勤務する職員から利用者には十分説明をしましたが、そのように見えたというのは反省点ではあります。

委員：そういっても説明がつかない。本当にミーティングしているかどうか確認していますか。

事務局：そこまでは確認していません。そこは不手際があったかと思いますが、趣旨を説明して理解をもらったという前提で、部屋を使用してもらいました。あくまでも活動する場合は利用料をお支払いいただいています。

委員：今の話を聞いているとやはり不公平だと感じます。市民の間に公民館が無料で使えるということがまかり通ってはいけません。そういうふうに話が広がっているのではないですか。そうならないようきちんと精査しなければならない

教育部長：市民には職員から説明を聞いて理解して頂けたうえで利用してもらっていると思います。

委員長：18時半（19時）以降から利用しているクラブのうち、通常の時間より早めに活動をしているクラブで、18時半以前の時間分を無料にした事例はありますか

事務局：そのようなことはありません。

委員長：あくまでも、19時からの1時間分のコロナ対応などのミーティングについて無料であったということですね。ただ、部屋に入るときにミーティングをしているということが他の方にわかるような形にしておく方がよいと思います。

例えば部屋に「コロナ対応会議中」などと掲示するとか、申請書を別にとっておくなどあれば後々誤解を招かないのではと思います。

あと、公民館3館での共通指針というのはまとめておくべきです。そのほうが利用者のほうにも説明しやすい。誤解を生みかねないことはクリアにすべきだと思います。

あと、コロナ感染拡大により、今年は公民館として大変な1年間だったと思いますが、公民館のコロナ感染対策などについて「あゆみ」などで特集ページを組む予定はありますか。いうのも、コロナでどんな影響があったかをきちんと残すべきだと思います。

事務局：現在作成中の2020年度「あゆみ」の3館共通という項目の中で昨年からの公民館としてのコロナ対応を国・大阪府・貝塚市の対応と合わせ、時系列でまとめたものを残す予定です。

委員長：このときに公民館で何があったのか、どのような対策をしたのかを整理しておく、後世に残すことができます。また、そのときの対応が良かったのか悪かったのか、後から検証することもできます。案件は以上です。

館長：委員長はじめ出席委員の皆様お疲れ様でした。臨時で集まっていた案件などがなければ、今年度の公民館運営審議会は本日をもって全日程を終了となります。では本日の最後に委員長に本審議会の講評をお願いいたします。

委員長：今年度はコロナで大変な1年だったと思いますが、後になってみると公民館にとって貴重なことだと思えますので、このことをきちんとした形で残すことが必要だと思います。様々な講座やイベントなどが中止になったことなど、今年度は公民館にとっても危機の年と感じたことでしょうけれども、今後の公民館運営活動のヒントになったということにしなければならないと思います。形に残すことは意味のあることなので、ぜひ検証していただきたい。

それでは、公民館運営審議会を終了いたします。1年間議事運営にご協力いただきありがとうございました。

(一同) :お疲れ様でした。

午後 3 時 30 分終了

※ 審議会終了後、貝塚市立公民館利用促進アドバイザーとの懇談